

|         |                   |    |    |    |    |
|---------|-------------------|----|----|----|----|
| 研究成果情報  |                   | 園芸 | 27 | 果樹 | 育種 |
| 新技術・情報名 | ぶどう新品種「博多ホワイト」の育成 |    |    | 分類 | ①  |

## 1. 成果の内容

### 1) 技術、情報の内容及び特徴

大粒、緑色で外観が優れ、しかも肉質、食味も優れており、なおかつ生産も安定している「博多ホワイト」を育成した。

- (1) 樹勢は強く、樹冠の広がり「巨峰」と同程度である。登熟は容易である。テレキ5BB台では中程度の台負けがある。
- (2) 果房は円錐形である。果房の大きさは250～350gであり外観は優れている。着粒程度は中である。
- (3) 果粒の形は短楕円、果粒重は平均9gで「ネオ・マスカット」より大きく、「イタリア」並の大きさである。果皮色は黄緑で、剥皮は困難で、肉質は崩解性である。果汁の糖度は16.0～17.5%、酸含量は比較的少なく0.5%程度で、食味は「ロザキ」に似て優れている。
- (4) 果実の日持ち性は中～長で、脱粒性は難である。結実性は優れ、生産は安定している。
- (5) 熟期は育成地の雨よけ栽培では8月下旬、「巨峰」と同じ熟期である。
- (6) 病害抵抗性は、うどんこ病にやや弱いほかは、欧州系ぶどうとしては比較的強い。生理障害はまれに縮果病の発生が認められる。

### 2) 技術、情報の適用効果

「マスカット・オブ・アレキサンドリア」より熟期が早い、緑色でマスカット香のある施設用ぶどう品種として普及することが見込まれる。

### 3) 適用範囲

全国のぶどう施設栽培地帯に適する。

### 4) 効果の利活用・普及指導上の留意点

本系統は純粋の欧州種であり、栽培を安定させるために、最低、雨よけ栽培を行う必要がある。施設下ではうどんこ病が発生しやすいので、適切な防除を行う。

## 2. 具体的データ

表1 育成の経過

|           |            |
|-----------|------------|
| 交配母本      | イタリア       |
| 交配父本      | ロザキ        |
| 交配年次      | 昭和49年      |
| 選抜年次      | 昭和60年      |
| 系統適応性検定試験 | 昭和63年～平成3年 |
| 農林登録      | 平成4年       |

表2 博多ホワイトと対照品種との果実特性の比較（平成2～3年の平均）

| 項目  | 博多ホワイト | ネオ・マスカット | ロザキ   | マスカット・オブ・アレキサンドリア |
|-----|--------|----------|-------|-------------------|
| 収穫期 | 8月下旬   | 8月下旬     | 9月上旬  | 10月上旬             |
| 果形  | 短楕円    | 短楕円      | 短楕円   | 短楕円               |
| 果皮色 | 黄緑     | 黄緑       | 黄緑    | 黄緑                |
| 肉質  | 崩解性    | 中間       | 崩解性   | 崩解性               |
| 糖度  | 17.4%  | 17.7%    | 17.7% | 18.4%             |
| 酸度  | 0.55%  | 0.49%    | 0.49% | 0.52%             |
| 果房重 | 345g   | 232g     | 278g  | 355g              |
| 果粒重 | 9.5g   | 5.8g     | 7.1g  | 10.1g             |
| 裂果性 | 微      | 少        | 少     | 少                 |

注) ①雨よけ栽培、②長梢剪定

## 3. その他特記事項

担当部科室名：園芸研究所 果樹部 果樹品種研究室

研究担当者名：松本亮司・能塚一徳・鶴 文和

研究課題名：温暖多雨地帯における施設ぶどう育種

期 間：昭和49年～平成3年

予算区分：指定試験

既発表論文・資料名等：福岡県農業総合試験場研究報告B-12

取りまとめ責任者名：松本亮司